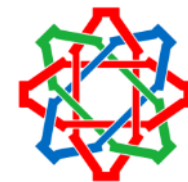


# 南砺市エコビレッジ構想

## 小さな循環による地域デザイン



ECOTO  
南砺市エコビレッジ構想



南砺市市民協働部エコビレッジ推進課



# なぜ今、エコビレッジ構想なのか

## 経済優先社会への不安

## 自然の大きさといのちの尊さ



日本経済新聞



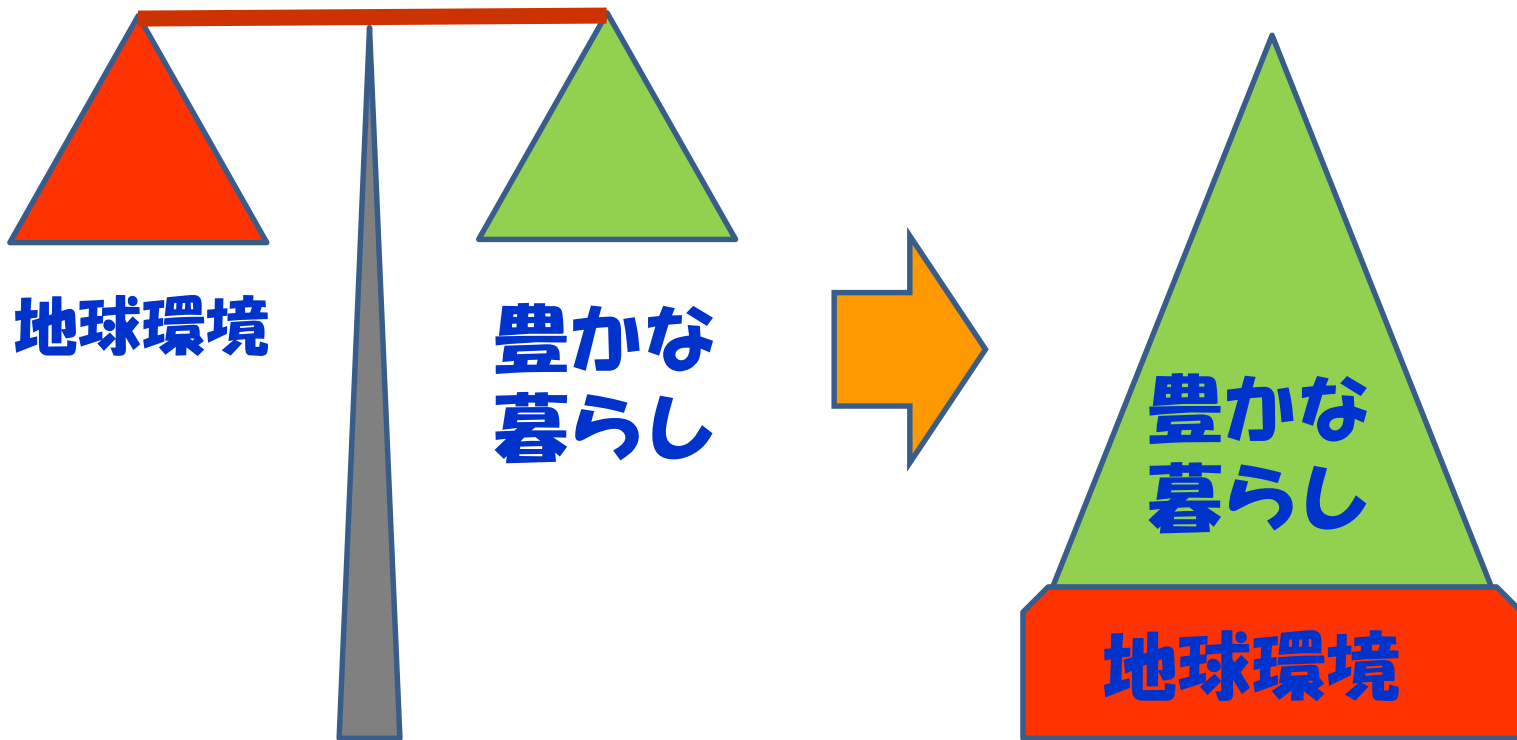
産経新聞

## 人間関係の大切さ



人と人、人と自然との関係を改めて考え直す必要がある

# 地球環境と豊かな暮らしを天秤にかけるのではなく 地球環境という規模の制約の上に心豊かな暮らしの形 をつくる



エコビレッジ構想は、  
南砺市が、地域が、人類が、地球が  
50年後も生き残るために今すべきことを提案しています

一人一人が「かけがえのない大切なものとは何か」  
ということを考えながら

ひとつひとつの選択を変えていくことが必要

「便利」+「思いやり(自然、人、地域、未来)」  
＝50年後の未来へと繋がる選択

# 「南砺市エコビレッジ構想」 H25.3策定

## 【基本理念】 小さな循環による地域デザイン

### 【基本方針】

1. **再生可能エネルギー**による  
地域内エネルギーの自給と技術の育成
2. **農林業の再生と商工観光業との連携**
3. **健康医療・介護福祉の充実と連携**
4. **未来を創る教育・次世代の育成**
5. **ソーシャルビジネスやコミュニティビジネス**による  
エコビレッジ事業の推進
6. **森や里山の活用と懐かしい暮らし方の再評価**による  
集落の活性化



# 南砺市エコビレッジ構想とエコビレッジプロジェクトの概要



## 【基本理念】 小さな循環による地域デザイン

自然との共生による地域資源を活かした持続可能な循環型社会の構築

- 【基本方針】 ①再生可能エネルギーの創出 ②農林業の再生 ③健康医療福祉介護の連携  
④次世代の人材育成 ⑤ソーシャルビジネスの推進 ⑥新しい暮らし方の提案

### エコビレッジ住宅ゾーン

南砺産材による自然共生住宅と南砺の風土にあった住宅ゾーン・新しい暮らし方の提案



薪・ペレットの供給

### 木質エネルギー利活用

南砺の8割を占める木質資源のエネルギーシステムの構築



### 再生可能エネルギーの活用



分散型エネルギーによる災害に強い拠点づくり  
太陽光発電（自家消費）  
木質ボイラー（温泉加温、給湯、空調）

## エコビレッジ桜ヶ池モデル地区

桜ヶ池エコビレッジプロジェクト委員会との連携



エコビレッジ法人  
（株）つなぐ南砺の設立



キッチンカー営業、  
桜ヶ池美化活動・植樹  
エコビレッジPR事業

クリエイタープラザ  
アニメ、映像、音楽などのコンテンツ産業の集積



### 合掌家屋「かず良」再生



350年の歴史を誇る合掌家屋の再生と麻や養蚕などの伝統産業の復活



合掌造り「かず良」  
カフェ、ゲストハウス

養蚕・絹織物・麻（麻布）

一般社団法人  
リバースプロジェクトとの連携

### 循環型農業の拠点 「オーガニック街道」事業



木質発酵熱利用や炭素循環農業等の安全安心で美味しい循環型農業の推進

森里川海の人的ネットワークの活用

## 市内全域への波及 南砺エコビレッジの実現



### エコビレッジ部活動

市内高校生・中学生の活動への支援

循環農業  
共学農園  
世代交流  
地域文化



### エコビレッジモデル事業



市民提案事業への支援

- ① バーク発酵熱農業
- ② 農産物加工販売
- ③ 古民家再生カフェ
- ④ 寺子クラブ
- ⑤ 南砺の山の炭焼き
- ⑥ パーマカルチャー
- ⑦ 堆肥化循環事業



### コミュニティファンドの活用

地域の思いを地域の知恵と資金で自ら実現する仕組みづくり

公益財団法人  
南砺幸せ未来基金

### 確かな未来は懐かしい過去にある

南砺エコビレッジの新しい暮らし方の提案による次世代につなぐ持続可能な循環型社会を目指します  
南砺の354自治会が地域資源を活用し自立できる地域づくりを進めます

# 再生可能エネルギー推進事業

**太陽光発電設備整備**（ヨッテカーレ、桜ヶ池クアガーデン、南砺中央病院）

**木質ペレットボイラー整備**（桜ヶ池クアガーデン、福光プールほか3施設）



ヨッテカーレ

二酸化炭素排出量の削減とエネルギーの自給を目的として整備。  
年間約47 tのCO2削減を見込む。  
蓄電池も装備し、災害時における電力が確保され、避難所として自立した施設運営が可能。

二酸化炭素排出量の削減とエネルギーの自給を目的として整備。  
年間約2,000 tのCO2削減を見込む。  
計画中の木質ペレット燃料工場稼働すると、市内でのエネルギー自給が実現する。





## 森林をめぐる状況

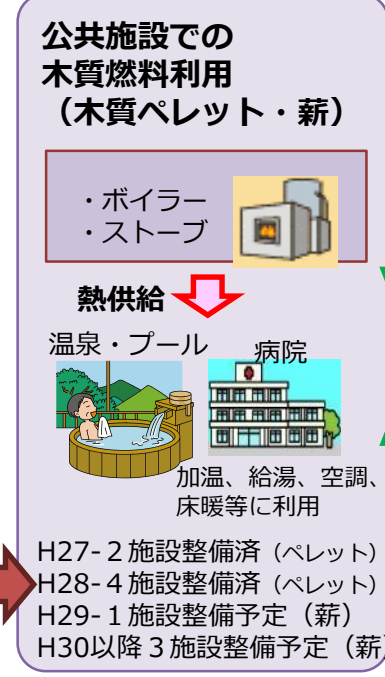
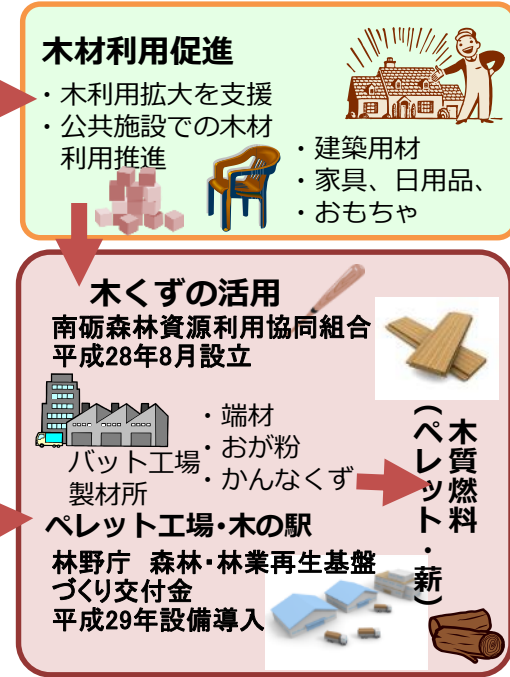
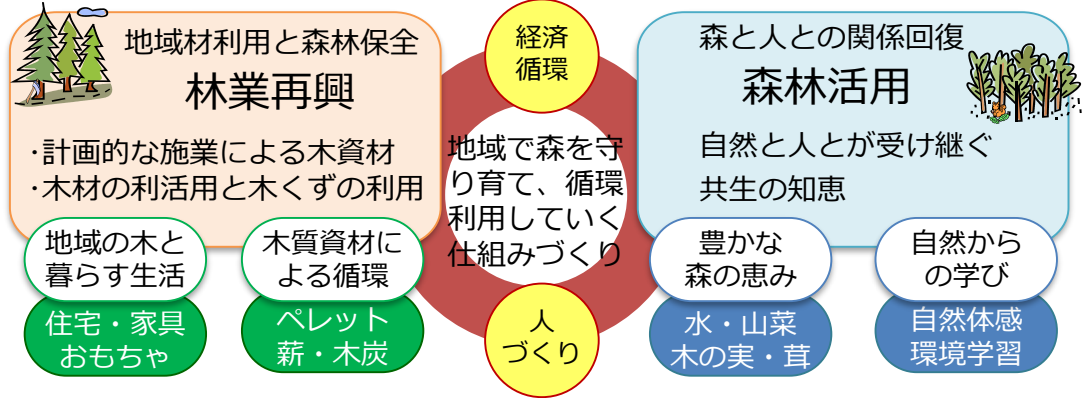
- 【森林の荒廃】 国産材の需要と価格の低迷による林業の衰退
- 【担い手不足】 山村の過疎化や担い手の高齢化
- 【所在の不明瞭化】 高齢化や不在地主増加による所在の不明瞭化

- 【生物多様性の変化】 シカやイノシシの増加やクマの異常出没
- 【温暖化被害】 台風や豪雨による倒木被害や害虫の異常発生
- 【公益的機能の低下】 施業不足による保水力・CO2吸収能力の低下

## 南砺市 森づくりプラン (森林整備計画)

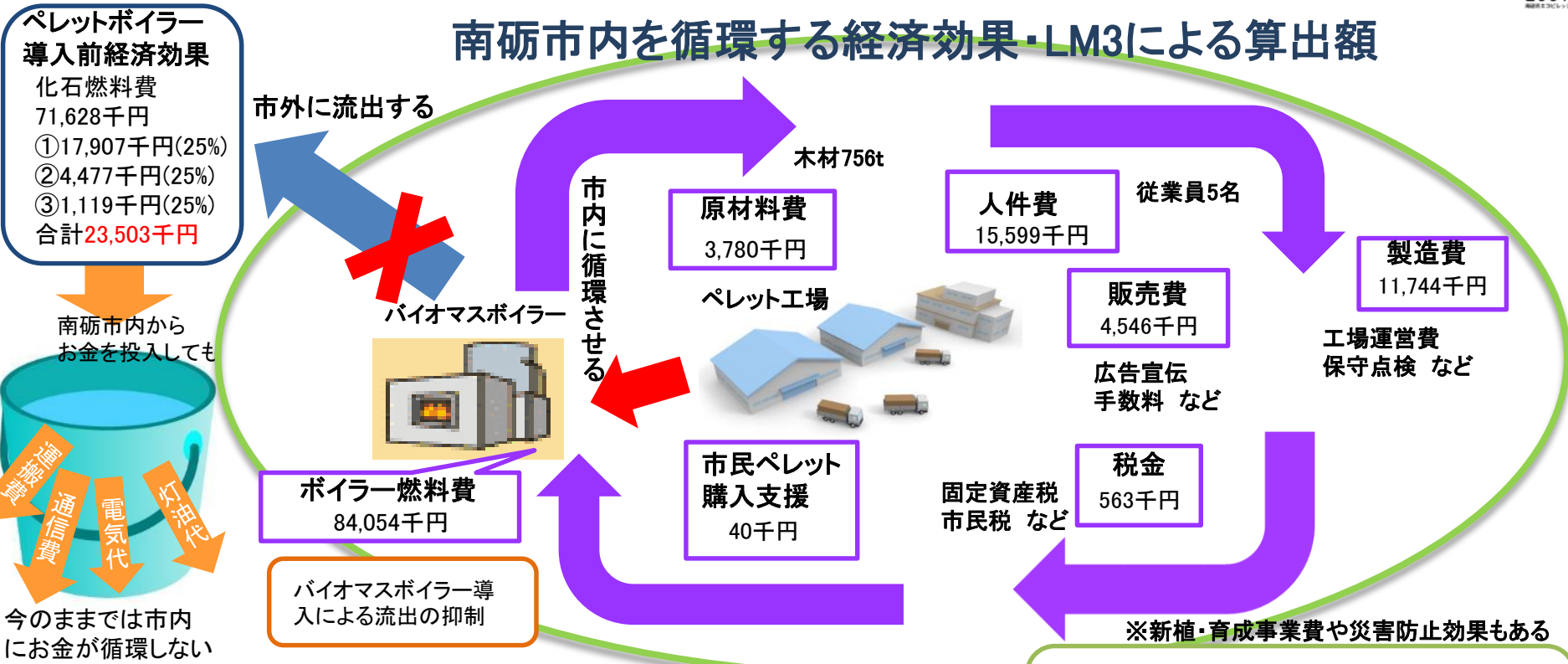
- ◇森林資源の持続的活用と多面的機能の維持のための施業と保全の推進
- ◇地域産材の利用促進と木質バイオマスエネルギーの創出

- ① 林道や作業道の整備と境界の明確化による施業の集約化等による効率化の推進
- ② 森林ボランティア活動への支援等による人材育成や山村への定住促進等による担い手の育成
- ③ 住宅や公共施設の新増築や家具、日用品等への木材利用拡大を推進
- ④ 木くず等を利用した木質ペレット燃料の製造と木質ペレットボイラー等の導入を推進





## 南砺市内を循環する経済効果・LM3による算出額



### 地域内経済効果・LM3による算出額

1巡目循環額 120,326千円の60% 72,196千円	+	2巡目循環額 72,196千円の60% 43,318千円	+	3巡目循環額 43,318千円の60% 25,991千円	+	カーボンオフセット 1,577千円	+	コストメリット △48,698千円
-------------------------------------	---	------------------------------------	---	------------------------------------	---	----------------------	---	----------------------

LM3により算出すると **94,384千円** の地域内経済効果がある

バイオマスボイラー導入による地域内の経済効果はボイラー燃料費、原材料費、人件費、製造費、販売費、税金、市民ペレット購入支援の合計で120,326千円/年がある

**【LM3】**  
ローカルマルチプライアー3(地域内乗数3)という英国のシンクタンクNEFが提唱する経済効果の算出方法で1巡目から3巡目までの効果額に60%を乗じ、カーボンオフセットとコストメリットを加減した測定方法である  
一般的に60%が域内循環、40%が域外流出とされている

**【カーボンオフセット】**  
人間の経済活動や生活と通して排出されたCO2を植林やクリーンエネルギー事業(排出権購入)によって埋め合わせる事

**【コストメリット】**  
燃料費差額に灰処理費、電気料、製造費等を合計した額であり、域外に流出するもの

# 南砺市再生可能エネルギー促進事業

わたしたちが目指すこと!

豊かな森林を地域資源として有効活用し、森林整備の促進や森林保全をはじめ、二酸化炭素の排出削減、地域経済の活性化につなげる取り組みです。森林資源のエネルギー活用により地域の中で需要と供給を結びつけるとともに、化石燃料の削減を行い、地球温暖化の抑制につとめます。

南砺市の森林面積の割合は約80%!!

森林から搬出された良質な木材は製材所などに運ばれ、家の柱や床などの建築資材に加工されます。



収穫する

適材適所で使う

育てる

植える

良質材

製材所・工務店・パット製作所

木質資材の活用

家の柱などにならない木材を有効活用します。

低質材

南砺森林資源利用協同組合

ペレット工場

熱供給

ペレットボイラー

ペレットストーブ

一般家庭

事業所

ペレット

製造されたペレットは、公共施設や一般家庭・事業所などで利用されます。

製材所やパット工場から出る端材やオガ粉はペレットに加工されます。

導入したペレットボイラーより供給される熱を冷暖房や給湯に利用しています。

木質ペレットボイラーを活用することで年間約1,965tのCO2を削減します。

灯油入りドラム缶にすると約3,190本分を削減します。(約638,000円)

木質ペレットボイラーから出る燃焼灰は農業用の肥料として活用できます。

ゆ〜ゆうランド花椿

桜ヶ池クアガーデン

南砺中央病院

福光プール

いなみ交流館ラフォーレ

燃焼灰

農業利用

バランスのとれた状態

主伐

植林

下刈り

端材、オガ粉等

ペレット

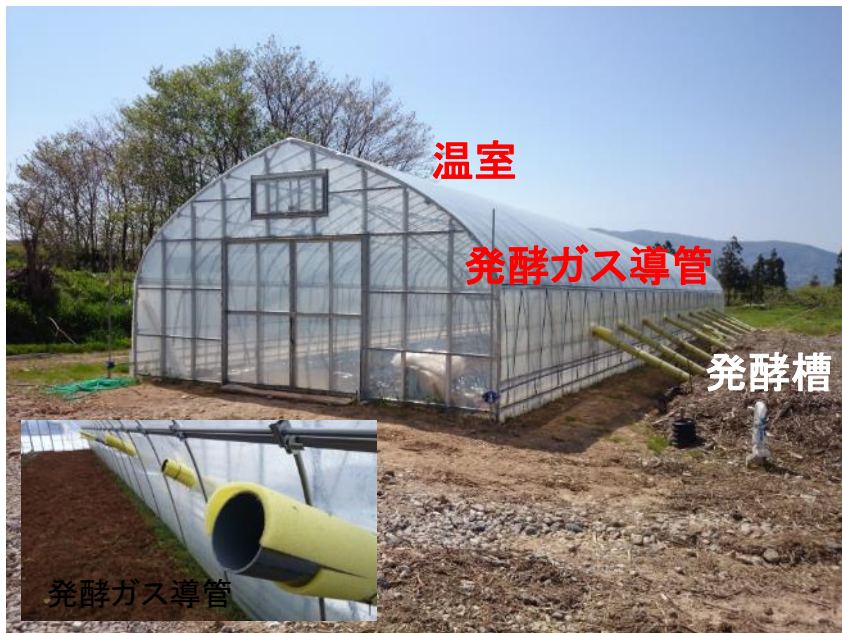
10



# 南砺市エコビレッジ構想推進モデル事業

## 「発酵バイオマス農業」

### 桜ヶ池バイオマス農業推進協議会



発酵ガスに含まれるCO<sub>2</sub>には成長を促進させる作用があり、短期間での収穫や収穫回数が増加するなどの効果があった。また、作物が活性化されたことにより、腐りにくく、食味の良い作物が収穫できた。

廃棄される木の皮を発酵させると、発酵による熱とCO<sub>2</sub>等のガスが発生する。その熱をビニールハウス内に取り込むことにより冬期でも気温15度以上維持することができ、一年を通した温室栽培が可能となる。





# 桜ヶ池合掌造り家屋「かず良」の利活用プロジェクトの概要



- ◇エコビレッジ構想の実現、循環型社会のシンボル、「新しいライフスタイル」を提案する情報発信拠点
- ◇現存の合掌造りのうち建築年が確認できる市内最古の合掌造り家屋「かず良」の改修と利活用
- ◇社会環境の変化により消滅した「麻布、養蚕、絹織物」など地域古来の伝統産業・文化の復活
- ◇東京一極集中の是正に向けた移住、定住者の地域活動の受け皿、住民との交流・コミュニティ形成の場

## 合掌造り家屋「かず良」とエコビレッジプロジェクト

### 一般社団法人リバースプロジェクト

- 南砺サテライトオフィス
- 「リバースビレッジ」モデル施設
- 南砺と東京の半農半XIによるクリエイターの二足の草鞋

- ①都市住人の地方への移住
- ②地方での関係資本の構築
- ③農業、及び林業人材育成



都市住民の観点



クリエイターによる  
プロダクトアウト

### 南砺市と連携

建築年が確認できる市内最古の  
合掌造り家屋「かず良」



合掌造り「かず良」

連携・指導

地域資源・歴史・文化の伝達

### 伝統産業再生事業協議会

- 絹、麻、綿の織物産業の伝承
- 養蚕など原料生産から商品化による新たな地域産業
- 記録作成、人材育成による次世代への伝承

- ①都市住人の地方への移住
- ②地方での関係資本の構築
- ③農業、及び林業人材育成



養蚕



織物



麻布

### 伝統産業・文化の復活

城端絹、福光麻布、福野縞、養蚕などの資料展示・情報発信  
南砺の文化、歴史、エコビレッジ構想

### 桜ヶ池エコビレッジモデル地区

かず良周辺の住民や 施設との連携により利活用について連携する

- ①桜ヶ池クアガーデン
- ②クリエイタープラザ
- ③自遊の森
- ④バイオマス農業協議会
- ⑤木質ペレット組合



地元住民の合意形成

### かず良での活動内容と連携

移住・定住・既住者の交流  
コミュニティ形成の場

住宅宿泊事業ゲストハウスの運営  
囲炉裏体験やサテライトオフィス  
まちづくりのための若者実習拠点  
コミュニティカフェ



### 新しいライフスタイルの提案

新たな暮らし方「かず良塾」  
発酵食や報恩講料理などの子ども食堂  
東京と南砺を結ぶリバースビレッジ  
地域資源の循環によるエコビレッジの実現

# 桜ヶ池合掌造り家屋「かず良」の運用

- ◇エコビレッジ桜ヶ池モデル地区にある合掌造り家屋「かず良」は俳優の伊勢谷友介が代表をつとめる一般社団法人リバースプロジェクトが所有し運営している施設です。
- ◇エコビレッジ構想策定やかず良再生、エコ住宅ゾーン計画など、まちづくりにおいて連携してきた。
- ◇SDGs 未来都市において南砺市・となみ青年会議所と3者連携協定を締結し実現を目指していく。

## 一般社団法人リバースプロジェクトの概要



リバースプロジェクトは「人類が未来の地球に生き残るために」という基本理念のもと、人々が持続可能な生活を営んでいるコミュニティ「リバースヴィレッジ」が各地で展開されていくことを目指しています。

「リバースヴィレッジ」とは、未来志向型/地球環境志向型居住地域及び地区を指します。

そこでは、**農業・水源・エネルギーまで、可能な限り自給自足**、あるいは、利用・消費量調整等を計画すること。また小規模の地理的コミュニティをベースにして、合意形成を行っていることが必要だと考えます。

さらに国内外にある「リバースヴィレッジ」を連携させ、展開していくことを目指しています。

この目標のもと各自治体、任意地域/地区、民間と協働し、そのモデルケースとなるまちづくり、及び活動を「**地域資源**」「**グラウンドデザイン**」「**市民参画(CGL)**」「**若手支援**」という4つの独自のアプローチから行っています。

## かず良での活動

### 南砺学かず良塾

南砺の歴史・土徳文化・伝統産業・生活などを学び、次世代につなげていくプログラム

### 子ども食堂

地域の有機野菜などを利用した健康にやさしい安心な食材の提供  
食文化をつなげていく

### 新しい暮らし方の提案

地域産材による住宅や再生可能エネルギーの活用、安心できる食生活、助け合いの暮らしなど、新たな暮らし方を提案する



### 管理運営

名古屋で民泊、自然農法に取り組まれていた方が家族3人で南砺市に移住され、かず良を管理運営します。  
民泊やカフェ、地域コミュニティの場として利用していきます。



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標







# 持続可能な開発目標（SDG s）とは？

**SDG s = Sustainable Development Goals**

持続可能な開発目標

将来世代のニーズを損なわずに、現役世代のニーズを満たす開発を進める

目標

世界全体で2030年を目指して明るい未来を作るための17のゴールと169のターゲット  
(+ 230~240の指標)





## SDG s 成立の経緯

2000年9月

国連ミレニアムサミットで主に開発途上国に対する目標としてミレニアム開発目標（MDG s）を採択

→対象が発展途上国など限られていたため思うような成果があげられなかった。

2015年9月

国連サミットでSDG s がすべての政府によって合意。  
前身となるMDG s と違ってすべての国、企業、人が取り組むべき目標として設定



## 持続可能な開発の3つの側面

- 持続可能な開発は、将来の世代がそのニーズを充足する能力を損なわずに、現世代のニーズを充足する開発と定義
- 持続可能な開発を達成するためには、**経済**成長、**社会**的包摂、**環境**保護という3つの主要素を調和させることが不可欠







# SDGsのもうひとつの捉え方 - 5つのP





# 自治体がSDGsに取り組む意味は？

1. 日ごろの活動が世界の目標に通じている/世界に先んじていることを認識できる
  - ⇒市民の「誇り」「やる気」につながる
  - ⇒活動の正当性や公共性（への貢献）を示すことができる
2. SDGs は共通言語
  - ⇒異なるステークホルダーとの協働・連携につながる
  - ⇒多様な国や姉妹都市等で、発展に持続的に貢献出来ることを示せる（開発途上国の開発戦略への結びつけもやりやすくなり、市場開拓にもつながる）
  - ⇒目標によるタグ付け（同じ目標への活動を集める）、ベストプラクティスや課題の共有で、課題解決のスケールアップや連携を可能にする



# 自治体がSDGsに取り組む意味は？

- 3. サステイナブルな方向に政策で誘導できる
  - ⇒ 財政支出の効率化につながる
    - **タテ割りに横ぐしをさす**ことで、効率化を図れる
    - 重点施策（例えば健康増進）と他の施策との関連を可視化しやすい
  - ⇒ 国際目標と結びつけることで、従来やりにくかった施策がやりやすくなる/**可視化**しやすくなる
    - ジェンダー平等、再生可能エネルギーの増大、食料廃棄物削減等
  - ⇒ **「誰一人取り残さない」**コンセプトで、人口減をストップし地方創生を行える





# 自治体がSDGsに取り組む意味は？

4. 企業のサステイナブルな取り組みやESG投資拡大の支援  
⇒ 認証の活用やSDGsへのコミット表明企業に対して  
**SDGs 調達を促進したり、投資を誘導**  
→ 中小企業のサステナビリティを応援
5. 将来のあり方から翻った活動が可能に  
⇒ 変化の多い時代のよりどころに  
例：ガソリン車からEV車へシフト→中小企業の事業が  
シフトを余儀なくされる  
⇒ 総合計画に盛り込むことで**誤りのない自治へ**

イノベーションとコラボレーションのたから箱



# 自立的好循環・普及展開性⇒SDGs南砺版地域循環共生圏の実装

自立分散 × 相互連携 × 循環・共生 = 活力あふれる循環共生圏  
(小規模多機能自治、基金) (土徳・地域包括ケア) (エコビレッジ構想) (世界に誇る一流の田舎)

課題解決  
雇用の創出  
地域の活性化



クリエイター育成マッチング

ソーシャルビジネス・  
コミュニティビジネス  
によるエコビレッジ  
事業の推進



地域包括ケアシステム



健康医療・介護福祉・  
防災の充実と自助/共助  
(包括医療ケア)

安心して暮ら  
せる地域づくり



オーガニック街道

南砺ブランド商品開発支援



農林業の再生と  
商工観光業の連携



南砺版地域  
循環共生圏  
(新たなライフスタイル)

南砺幸せ未来基金  
とESG地域金融と  
の連携

・住民自治組織  
小規模多機能自治

学校間をつなぐ協働遠隔学習



伝統・文化の継  
承と交流人口増

エコビレッジ住宅ゾーン

未来を創る地域教育  
・次世代の育成  
・文化と教育の連携

付加価値の高い  
ものづくり



自立した  
地域づくり



再生可能エネルギーの  
利活用による地域内の  
エネルギーの自給と  
技術の育成

森林資源エコシステムの構築

世界遺産合掌造り家屋の保存  
茅場再生

森や里山の活用と  
懐かしい暮らし方の  
再評価による  
集落の活性化

確かな未来は  
懐かしい過去に  
ある

他地域  
への  
普及展開

呉西6市との連携  
・海外、エコビレッジ交流



「森の学校、森の保育園」の創設

マイクロプラスチック、  
海洋汚染抑制





# 2030年のあるべき姿

## 2030年あるべき姿と自治体SDGsの推進に資する取組との関係性

### 南砺市における「2030年あるべき（ありたい）姿」

#### 世界に発信する「南砺版エコビレッジ」の実現

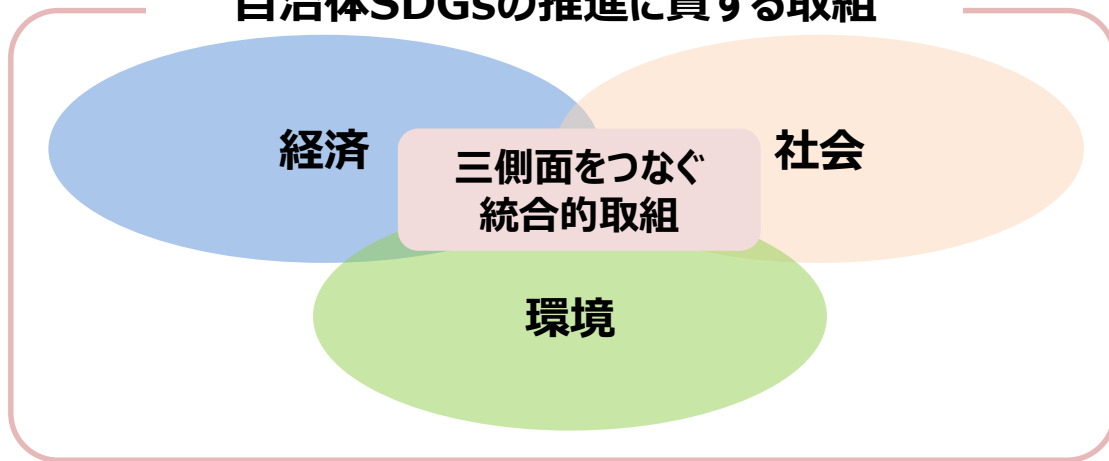
心豊かな「結」と「土徳」の  
まち創造

多様な仕事を育む  
地域課題解決のまち創造

南砺版エコビレッジによる  
新しいライフスタイルのまち創造

文化・芸術・景観・ひとが  
紡ぐ交流のまち創造

### 自治体SDGsの推進に資する取組



### ベースとなる思想：南砺市エコビレッジ構想

「小さな循環による地域デザイン」を基本理念とした、6つの基本方針

「ありたい姿」の実現を  
より加速させる取組

これまでの取組

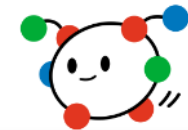
現在の課題

バックキャスト





# SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業の採択



富山県南砺市

## 「南砺版エコビレッジ事業」の更なる深化

～域内外へのブランディング強化と南砺版地域循環共生圏の実装～

南砺市の土徳文化を次世代に継承する取組みや支え合いによるまちづくりの取組を通して、地域資源の循環や相互補完が可能となる人材育成プログラムや住民参加による自治組織形成を促進するとともに、これらを基金運営等により支えることで、SDGsおよび「南砺版エコビレッジ事業」を更に深化させ「一流の田舎」を実現する。

### <取組課題>

「やりたいこと」が「できる」地域を実現

### <取組課題>

心豊かで安心して暮らすことができる社会を実現  
ひとと出会い、ひとと深くつながるまちを実現

## 経済



産業創出  
人材育成  
森林

- 「オーガニック街道」の整備
- 伝統産業のリデザイン
- 「南砺ブランド商品開発支援」
- クリエイター育成マッチング事業
- 森林資源を活用したビジネス再生



クリエイタープラザ  
(ブランド商品開発、クリエイターの拠点)



森林資源エコシステム  
(ハレット工場)

### 三側面をつなぐ統合的取組

文化と教育の連携・住民自治の再構築  
コミュニティファンドの創出

#### 土徳文化

文化伝承や  
発信による  
地域の誇り醸成

#### 相互補完・循環

南砺幸せ  
未来基金  
活動資金や  
人的ネットワーク等  
を支援

小規模  
多機能自治  
住民参加による  
真の住民自治の  
再構築

## 環境



- エネルギー
- 森林資源エコシステム構築
- 廃棄物
- 森林川海の連携「マイクロプラスチック、海洋汚染抑制」
- 人材育成
- いのちの森をつなぐ次世代人材の育成
- 「森の学校」「森の保育園」の創設

## 社会

観光・歴史  
医療・介護  
福祉  
住宅  
教育

- 世界遺産合掌造り家屋の保存、茅場再生
- 地域の助け合いを育む
- 「地域包括ケアシステム」
- 新たな暮らし方の提案
- 「エコビレッジ住宅ゾーン事業」
- 小規模校や複式学級すべての人に教育を
- 「学校間をつなぐ遠隔協働学習」



地域包括ケアシステム  
(住民主体のミニデイサービスでの軽運動)

### <取組課題>

地域資源を活用・循環させ  
ワクワクする「懐かしい未来を実現」



# 自治体SDGsモデル事業

## 経済面での取組

伝統ある地場産業とコンテンツ産業による地域経済の活性化

### ■ クリエーター育成マッチング事業



### ■ 「オーガニック街道」の整備



### ■ 伝統産業のリデザイン 「南砺ブランド商品開発支援」



### ■ 森林資源を活用したビジネス再生



### 三側面をつなぐ統合的取組

■ 文化と教育の連携（文化芸術創造都市）「南砺の土徳文化は一流の田舎につながる」

■ 住民自治の再構築「小規模多機能自治」

■ コミュニティファンドの創出「南砺幸せ未来基金」

## 社会面での取組

地域の伝統文化と“南砺らしさ”を正しく継承し、全ての人々が健康で安心して暮らせる社会の構築

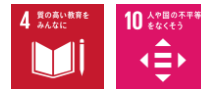
### ■ 地域の助け合いを育む 「地域包括ケアシステム」



### ■ 世界遺産合掌造り家屋の保存、茅場再生



### ■ 小規模校や複式学級すべての人に教育を 「学校間をつなぐ遠隔協働学習事業」



### ■ 新たな暮らし方の提案 「エコビレッジ住宅ゾーン事業」



## 環境面での取組

豊富な地域資源を最大限活用した循環型社会の形成

### ■ 森林資源エコシステム構築事業



### ■ 森里川海の連携 「マイクロプラスチック、海洋汚染抑制」



### ■ いのちの森をつなぐ次世代人材の育成 「森の学校」「森の保育園」の創設





令和元年7月1日 首相官邸にて





# SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業の採択



別紙2

## 令和元年度 SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業選定都市一覧

緑字：SDGs未来都市（自治体SDGsモデル事業含む）  
青字：SDGs未来都市

※県が選定されている場合は県全域を着色。



出典：国土地理院ウェブサイト（<https://maps.gsi.go.jp/>）の白地図をもとに作成

	都市名	提案タイトル
SDGs未来都市 (自治体SDGsモデル事業含む)	福島県郡山市	SDGsで「広め合う、高め合う、助け合う」におりやま広域圏～次世代につながる豊かな地域の創生～
	神奈川県小田原市	人と人とのつながりによるいのちを守り育てる地域自給圏の創造
	新潟県見附市	住んでいるだけで健康で幸せになれる健康都市の実現～「歩いて暮らせるまちづくり」ウォーカブルシティの深化と定着～
	富山県南砺市	「南砺版エゴレッジ事業」の更なる深化～域内外へのブランディング強化と南砺版地域循環共生圏の実装～
	福井県鯖江市	持続可能なめがねのまちさばえ～女性が輝くまち～
	京都府舞鶴市	便利な田舎くらし「ヒト、モノ、情報、あらゆる資源がつながる“未来の舞鶴”」
	岡山県西粟倉村	森林ファンドの活用で創出するSDGs未来村
	熊本県熊本市	熊本地震の経験と教訓をいかに災害に強い持続可能なまちづくり
	鹿児島県大崎町	大崎リサイクルシステムを起点にした世界標準の循環型地域経営モデル
	沖縄県恩納村	SDGsによる「サンゴの村宣言」推進プロジェクト～「サンゴのむらびの行動計画」の高度化による世界一サンゴに愛し持続可能な村づくり～
SDGs未来都市	若手県陸前高田市	ノーマライゼーションという言葉のいらぬまちづくり
	栃木県宇都宮市	SDGsに貢献する持続可能な“つく”都市・つたのみやの構築
	群馬県みなかみ町	水と森林と人を育む みなかみプロジェクト 2030～持続可能な発展のモデル地域“B.R.”として～
	埼玉県さいたま市	SDGs「国際未来都市」さいたま2030モデルプロジェクト～誰もが住んでいることを誇りに思える都市へ～
	東京都日野市	市民・企業・行政の対話を通じた生活・環境課題産業化で実現する生活価値（QOL）共創都市「日野」
	神奈川県川崎市	成長と成熟の調和による持続可能なSDGs未来都市かわさき
	富山県	環日本海地域をリードする「環境・エネルギー先導県とやま」
	石川県小松市	国際化時代にふさわしい未来をつなぐ「民の力」と「学びの力」～PASS THE BATON～
	愛知県	SDGs未来都市あいち
	愛知県名古屋市	SDGs未来都市～世界に冠たる「NAGOYA」～の実現
	愛知県豊橋市	豊橋からSDGsで世界と未来につながる水と緑の地域づくり
	滋賀県	世界から選ばれる「三方よし・未来よし」の滋賀の実現
	奈良県生駒市	いまSDGs未来都市～住宅都市における持続可能モデルの創出～
	奈良県三郷町	世界に誇る！！人にもまちにもレジリエンスな「スマートシティSANGO」の実現
	奈良県広陵町	「広陵町産業総合振興機構（仮称）」の産官学民連携による安全・安心で住み続けたいまちづくり
	和歌山県和歌山市	持続可能な海社会を実現するリノベーション先進都市
	鳥取県智頭町	中山間地域における住民主体のSDGsまちづくり事業
	鳥取県日南町	第一次産業を元気にする～SDGsにちなみチャレンジ2030～
	福岡県大牟田市	日本の20年先を行く10万人都市による官民協働プラットフォームを活用した「開い」「学び」「共創」の未来都市創造事業
	福岡県福津市	市民共働で推進する幸せのまちづくり～津屋崎スタイル～を世界へ発信
鹿児島県徳之島町	あこがれの連鎖と幸せな暮らし創造事業	

※都道府県・市区町村コード順



# SDGs推進に関する連携協定

# JCとリバーズP





# 「南砺版エコビレッジ事業」の更なる深化

～域内外へのブランディング強化と南砺版地域循環共生圏の実装～

SDGs(エスディーゼズ)は世界が合意した「持続可能な開発目標」です。

南砺市は2030年を目標とし、「経済」・「社会」・「環境」が調和したまちの実現を目指しています。



## 市民のみなさんへ

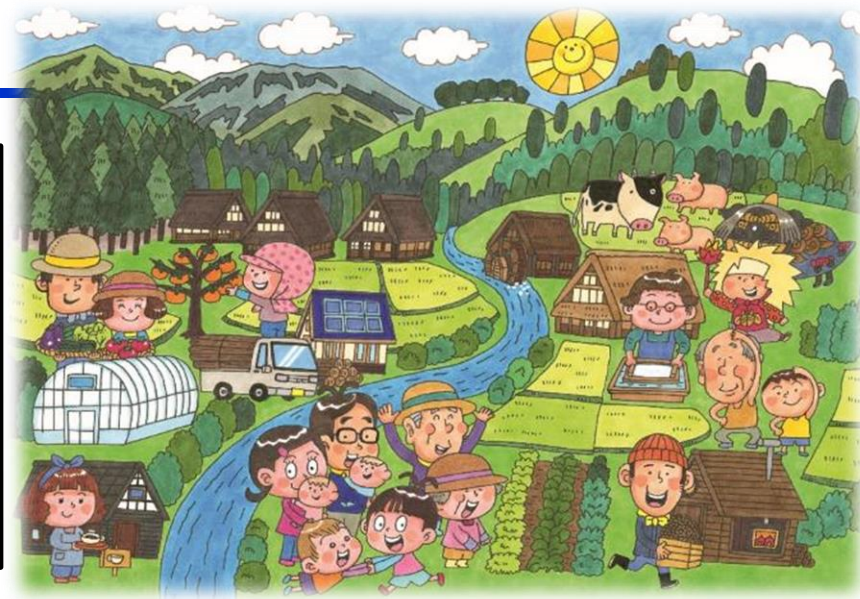
SDGsには「17の目標」がありますが、南砺市の2030年を考え、これから進めることや守ること、協力したり、発信したり、行動するのに大切と思うことは何でしょうか。

自分達の子どもや孫のことを考え、南砺市の大切なものは何なのか、この機会に話しあい、一緒に行動しましょう。

# 令和元年ローカルサミットNEXTin南砺

## ローカルサミットとは

- 全国の幅広い志民との連帯の中で、地域活性化の輪を広げると共に、従来の人間中心の成長至上主義から自然との共生・循環に立脚した価値観への転換を共有しようとする「ローカルサミット」を毎年全国各地で開催。
- 開催が10回を重ねたことを機に、新たな知恵と力を集める場「ローカルサミットNEXT」として昨年から再スタート。
- 通算12回目となる今回は10月26日（土）27日（日）の2日間、富山県南砺市で開催。（2011年以来8年ぶり2回目）



## 日時・場所・主な内容

### 1日目

日時：令和元年10月26日（土）14時00分～20時10分

場所：城端別院 善徳寺

内容：南砺の取組み紹介と基調講演

分科会

（メインテーマ：「世界に誇る一流の田舎」とは）

大懇親会 等

備考：11時00分～12時30分、エコビレッジ関係施設

見学ツアーを開催

### 2日目

日時：令和元年10月27日（日）9時00分～12時30分

場所：南砺市城端伝統芸能会館 じょうはな座

内容：1日目の分科会報告等

大討論会

分科会の内容を踏まえた

「南砺幸せなSDGs志民憲章（仮称）」の採択

備考：13時30分～16時50分、南砺市内視察ツアーを開催

## 今回のローカルサミットのゴールイメージ

- 南砺市は令和元年7月、内閣府が選定するSDGs未来都市に選定。
- これを受け、2030年に向けた活動指針であり、今年度策定される新総合計画とも連携し相互補完する位置付けとなる「南砺市SDGs未来都市推進実施計画（仮称）」を現在策定中。
- これらを踏まえ、「南砺幸せなSDGs志民憲章（仮称）」をサミットの最後に採択し、南砺市SDGs未来都市推進計画とセットにしていきたい旨読み上げて、南砺市長へお渡しする。





# 令和元年ローカルサミットNEXTin南砺 分科会・報告会・大討論会について

## 開催日時・場所

※令和元年9月25日現在

- **分科会**  
日時：令和元年10月26日（土）16:00～18:00  
場所：城端別院 善徳寺
- **分科会報告・大討論会**  
日時：令和元年10月27日（日）9:00～12:10  
場所：南砺市城端伝統芸能会館じょうはな座
- **メインテーマ 「世界に誇る一流の田舎」とは**

## 分科会テーマ

- ①一流の田舎には 一流の精神文化が（土徳）
- ②田舎の風土を 農業で守り続けるには（農業）
- ③田舎が守り繋ぐ 芸術文化、手仕事と産業（芸術・産業）
- ④一流の田舎が 森から里川海を守る（林業・自然）
- ⑤優れた田舎のDNAを 地域の若者たちが引き継ぐ（地域教育）
- ⑥誰一人取り残さない 優しい地域を取り戻すには  
(地域包括ケア)
- ⑦本物で勝負する 田舎観光を考える（観光）
- ⑧田舎を支えるローカルファイナンスと小規模多機能自治  
(基金、小規模多機能自治)
- ⑨情報と5Gで 田舎が東京を超えて世界とつながる（IT）
- ⑩一流の田舎を みんなで楽しむ方法（遊び）

## 分科会会場イメージ



## 主な内容・流れ等

- 26日 16:00～16:05 分科会開会  
分科会開会挨拶、パネリスト紹介 等
- 26日 16:05～16:25 市内の取組み紹介  
市内のパネリストから、テーマに関する取組み等を紹介  
(10分×2名)
- 26日 16:25～16:45 市外からの想い・提案  
市外のパネリストから、市内の取組みに対する想い・提案等を紹介(10分×2名)
- 26日 16:45～18:00 キーワード出し  
必要に応じて、南砺幸せSDGs志民憲章の素案を提示し、各テーマごとに
  - ・メインテーマ「世界に誇る一流の田舎」を目指す
  - ・南砺幸せなSDG志民憲章へ盛り込む
 ために必要なキーワード(メッセージ)等についてパネリストに意見を求め（3周程度）、時間までに分科会としての意見をまとめる
- 27日 9:05～9:55 分科会報告  
分科会でまとめたキーワード（メッセージ）を報告  
(5分×10分科会の代表)
- 27日 10:10～12:10 大討論会  
分科会報告を踏まえ、南砺幸せなSDGs市民憲章について討論
- 27日 12:10～12:20 南砺市幸せなSDGs志民憲章採択  
キーワードを基にした志民憲章を島田優平実行委員長が朗読し、市長へ手渡し

ご清聴ありがとうございました。



富山県南砺市